

日興五大陸債券ファンド（毎月分配型） 2020年10月決算と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」は、2020年10月16日に決算を行ない、分配金を引き下げましたことをご報告申し上げます。

今回の決算において当ファンドは、市況動向や、基準価額に対する分配金額の水準などを総合的に勘案し、分配金を引き下げてその差額を内部留保し信託財産の成長をめざすことと致しました。

次ページ以降で、足元の投資環境や今後の見通しなどについてご説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額

当期の分配金	15円
前期の分配金	25円
設定来の分配金合計 2020年10月16日現在	5,205円
基準価額 (税引前分配金控除後) 2020年10月16日現在	8,198円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

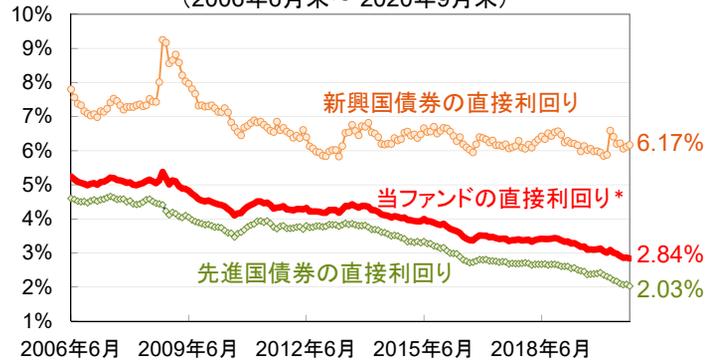
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

分配金額見直しの背景について

新型コロナウイルス感染拡大による世界経済の落ち込みを背景に、米国が実質的なゼロ金利政策を行なうなど、世界各国・地域において金融緩和政策が講じられており、世界的に債券利回りは低下しています。そうしたなか、当ファンドにおけるインカム収入も減少しており、分配金の支払いが基準価額の押し下げ要因となる局面もみられました。当ファンドでは、市況動向に加え、分配金額を抑えれば、運用により多くの資産を振り向けられることなどを総合的に勘案し、今後とも安定的な分配金のお支払いを継続することなどをめざすために、今回の決算において分配金額を引き下げることに致しました。

※先進国債券と新興国債券の直接利回りは、各マザーファンドの直接利回りです。
* 先進国債券と新興国債券の直接利回りおよび各月末の組入比率をもとに算出した計算上の値です。

当ファンドの直接利回りの推移
(2006年6月末～2020年9月末)



当ファンドの基準価額の推移について

今年1月下旬以降、新型コロナウイルス感染拡大への警戒感などから、世界的に債券が買われ、米国を中心に先進国債券の価格は上昇傾向(利回りは低下傾向)となりました。その後、新型コロナウイルスの感染がアジアにとどまらず、欧米にも波及したことを受け、経済への影響を抑えるべく、主要中央銀行が緊急利下げなどの金融緩和を実施したことから、先進国債券の価格は一層上昇(利回りは低下)する展開となりました。

一方、新興国債券については、新興国からの資金流出懸念が高まったことなどから、3月に売られる展開(利回りは上昇)となりました。しかし、4月以降は、先進国の長期金利の低下により、相対的に利回りが高い新興国債券の投資魅力が高まったことなどから、投資家のリスク回避姿勢の後退につれて、新興国債券の価格は上昇(利回りは低下)しました。

そのようななか、当ファンドの基準価額は、新興国債券の下落などの影響から軟調となる局面も見られたものの、足元では、堅調な推移となっています。

当ファンドの基準価額と分配金の推移
(2006年6月12日(設定日)～2020年10月16日)



※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
※ 分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し

債券について

世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて大きく減速したものの、世界各国・地域の政府や中央銀行による積極的な経済対策により、持ち直しに転じたとみられるほか、ワクチン開発の進展も期待されます。

ただし足元では、スペインやフランスを中心に欧州で、新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、経済活動の正常化までには、まだ時間を要する状況となっています。FRB(米連邦準備制度理事会)は、9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)において、2023年末まで実質ゼロ金利を維持することを示唆しており、世界各国・地域の中央銀行は引き続き、緩和的な金融政策を通じて景気を支え続けると見込まれます。また、多くの国で財政赤字や企業債務が過去最高水準となるなか、金利の上昇は利払い負担の増大につながることから、世界で低金利政策が維持される可能性は高いと考えられ、引き続き債券市場の追い風になることが期待されます。

為替について

米ドルは、3月中旬まで乱高下した後、強力な金融・財政政策が主要国・地域で相次いで発表され、投資家の不安が和らいだことに加え、米長期金利の低下などもあり、概ね1米ドル=107円台後半で一進一退となりました。足元では、欧米などでの感染再拡大や米中の対立激化への懸念に加え、米国の実質ゼロ金利政策の長期化観測、米大統領選挙に向けての政治的な不透明感の高まりなどを背景に105円台での推移となっています。ただし、大規模なロックダウンが再度、導入される可能性は低いとみられるほか、ワクチン開発も進んでいることなどもあり、現状では米ドル安が加速する可能性は高くないとみられます。

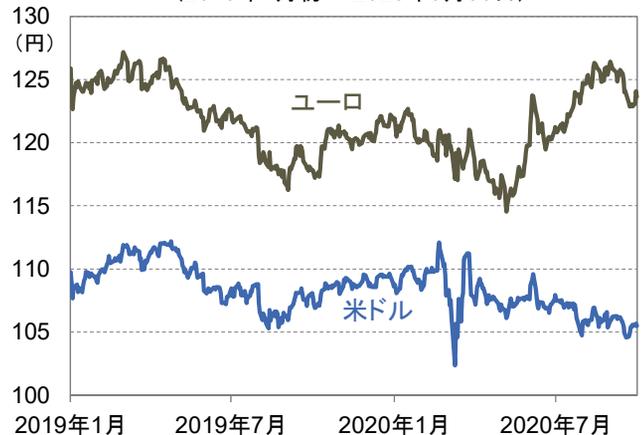
ユーロについては、EU(欧州連合)復興基金の創設合意や景気の回復期待などを背景に、8月まで堅調な推移が続きました。しかし、その後は、感染の再拡大や、景気回復の遅れを示す経済指標の発表などを受け、下落する展開となりました。今後の景気動向によっては下落が続く可能性も考えられます。

先進国と新興国債券価格(円ベース)の推移
(2019年1月初～2020年9月30日)



※先進国債券はFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)、新興国債券はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・円ベース)を日興アセットマネジメントが円換算した値を使用

為替(対円)の推移
(2019年1月初～2020年9月30日)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

分配金Q & A

Q. 引き下げられた分の分配金はどうなるのですか？

A. ファンドの信託財産として留保され、運用に振り向けられます。

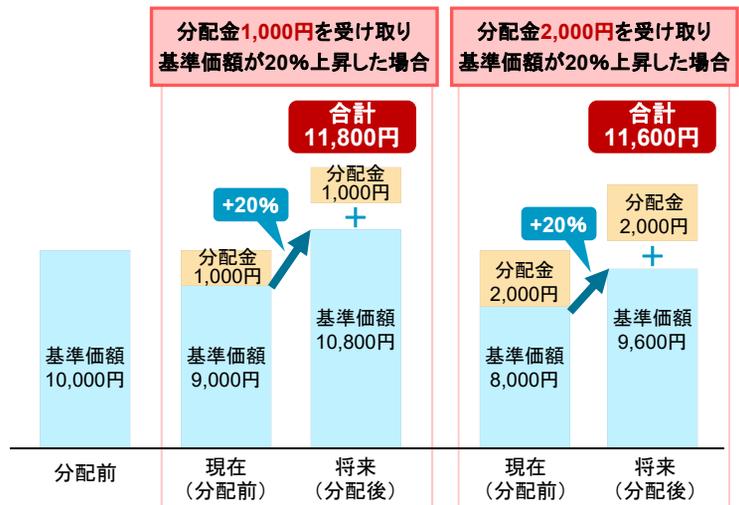
分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。

運用者は、留保された資金をもとに、より多くの投資を行なうことが可能となります。

なお、投資資産の値上がりなどを通じて基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払って基準価額が低くなった場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。

※右記はイメージ図です。

＜分配金額の違いによる基準価額上昇時のイメージ＞



Q. 分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がよいですか？

A. 分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。ファンドの運用成績は、トータルリターンで考えていただくことが重要です。

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者(投資者)の皆様へ、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

ファンドで得られた収益などをどのように配分する(分配金として支払う／内部留保として投資に振り向ける)かは、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、**基準価額の変動額と受取分配金を合わせた総合的な投資収支(=トータルリターン)をもって行なうことが、重要であると考えます。**

Q. 今後の分配方針について教えてください。

A. 引き続き、毎月、安定的に分配金をお支払いすることをめざす方針に変更はありません。

分配金額に関しては、今後も、市況動向、基準価額水準などを勘案し、毎決算時に委託会社が決定します。なお、将来の分配金およびその金額について保証するものではありませんが、当ファンドでは今後も収益分配方針に則り、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

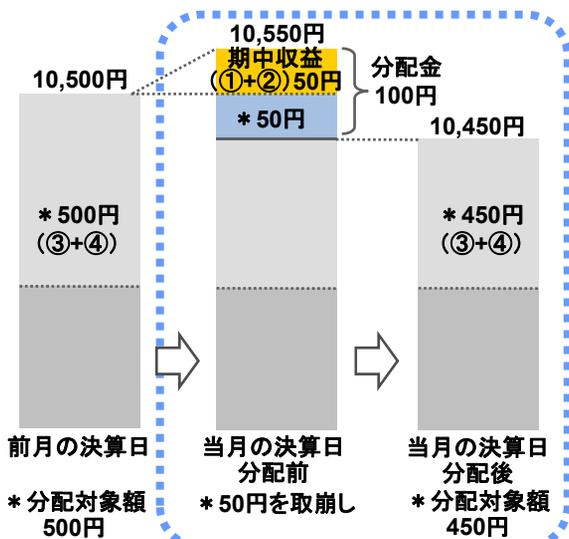
投資信託で分配金が支払われるイメージ



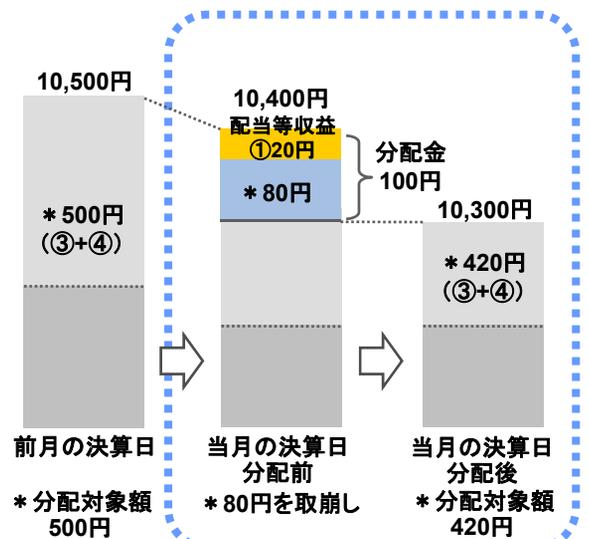
- 分配金は、計算期間中(前月の決算日翌日から当月の決算日まで)に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当月の決算日の基準価額は前月の決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前月決算から基準価額が上昇した場合



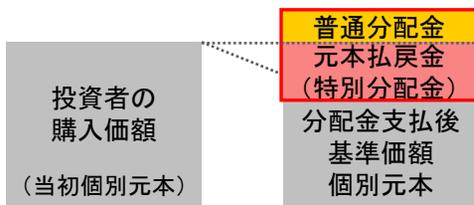
前月決算から基準価額が下落した場合



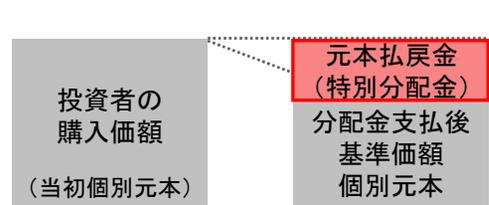
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的には元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金)元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

ファンドの特色

- 1 新興国を含めた海外の債券を対象に幅広く分散投資を行ないます。
- 2 基本投資比率は先進国に80%、新興国に20%とします。
- 3 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2006年6月12日設定)
決算日	毎月16日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込み日がニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>2.2%</u> (税抜2%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.2%</u>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.1%</u> (税抜1%)
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕www.nikkoam.com/
〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
日本郵便株式会社	金融商品仲介業者	関東財務局長(金仲)第325号				
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順・資料作成日現在)